

園名 三郷町立南畑幼稚園

はばたくなら③

夢中で遊ぶ子どもをめざして

3歳児・4歳児 6月頃

取組について

今年度「夢中で遊ぶ子どもをめざして」をテーマとして研究を進めている。そこで、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」をもとに私達なりの幼児理解を深めていきたいと考えた。本園独自に作成し遊びの中から見えてくる子どもの心の動きや育ちを保育者同士で確認し、共有し合いテーマに迫っていきたい。

(まとめ)

・今回の研究を通し10の姿の内容について保育者間で十分に話し合うことで子どもの姿を共有でき、多面的に遊びや子どもの内面を見ることの大切さを感じた。
・今回は思考力の芽生えに視点を置いて研究を深めたが、私達が考えた以上に様々な芽生えが見えてきた。さらに保育者が遊びの姿から子どもの内面を理解して次の活動へつなぐ環境構成の大切さを学んだ。

(成果)

・園独自の「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を考え、遊びの中での育ちを明確にすることができた。そして、保育者間で子どもの内面をみつめ、意見を交わし合うことで、保育者自らの教育観を振り返ることができた。

(課題)

・今後、子どもが取り組む遊びの意味や学びを保護者に伝え、幼児期の終わりまでに育てたい力を共有していく。

めざす子ども像 ～やさしい心・チャレンジする力・元気な体をはぐくもう！～

信貴山に登ってふれて感じよう

- 【健康な心と体】
 - ・生活に必要な習慣や態度を身に付ける
- 【社会生活との関わり】
 - ・公共のルールが分かり、大切にしようとする
- 【思考力の芽生え】
 - ・不思議さや面白さを感じる
- 【自然との関わり・生命尊重】
 - ・四季の変化に気付く
- 【言葉による伝え合い】
 - ・言葉にして感動を伝え合う
- 【豊かな感性と表現】
 - ・豊かな自然・文化・歴史に触れ、心を動かす体験をする



- ### 【協同性】 園周辺を知ろう
- ・友達と思いや考えを共有する
- ### 【社会生活との関わり】
- ・身近な人と触れ合う
- ### 【思考力の芽生え】
- ・様々な環境に自ら関わり、経験する
- ### 【自然との関わり・生命尊重】
- ・地域の自然を生かして遊ぶ
- ### 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
- ・周辺の位置関係を知る
- ### 【言葉による伝え合い】
- ・様々な物の名称を知る



【健康な心と体】 幼稚園で遊ぼう

- ・安心・安定して園生活を送る
- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- 【自立心】
 - ・自分なりにやってみようとする
- 【協同性】
 - ・互いのよさを認め合い、一緒に取り組む
 - ・目的に向かって取り組む
- 【道徳性・規範意識の芽生え】
 - ・自分の気持ちに折り合いをつけて遊ぶ
- 【社会生活との関わり】
 - ・周りで起きている事象を取り入れて生活する
- 【思考力の芽生え】
 - ・友達と一緒に考えたり、工夫したりする
- 【自然との関わり・生命尊重】
 - ・自然事象に触れたり、自然物を遊びに取り入れたりする
- 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
 - ・遊びの中に数字や文字・図形など取り入れる
- 【言葉による伝え合い】
 - ・自分の思いを伝え、友達の思いや考えを知る
- 【豊かな感性と表現】
 - ・自分なりの表現方法で伝える



のどか村で体験しよう

- 【健康な心と体】
 - ・体を動かす心地よさを感じる
- 【自立心】
 - ・色々な活動に挑戦する
- 【道徳性・規範意識の芽生え】
 - ・決まりやルールを守る
- 【自然との関わり・生命尊重】
 - ・様々な自然や生き物に関わり命あることを知る
- 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
 - ・標識やマークの意味を知る
- 【豊かな感性と表現】
 - ・見たこと、経験したことに感動する

園の特色を生かして、幼稚園や地域に出かけたときに経験することに焦点を当て、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を表記した。

実践事例

環:環境構成
子:子どもの姿
援:保育者の援助

思考力の芽生え
(園独自のもの)

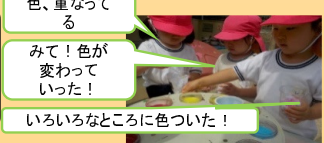
- ① 友達の様々な考えに触れ新しい考えを生み出す
- ② 確かめたり、試したりして興味や関心を深めていく
- ③ 自分と異なる考えがあることに気付く
- ④ 物事の性質に気付く、工夫する
- ⑤ 色々な方法を知る
- ⑥ 保育者の援助により物事の性質に気付く
- ⑦ 自分なりの方法でやりたい事を実現しようとする
- ⑧ 様々な環境に自ら関わり経験をする
- ⑨ 不思議さやおもしろさを感じる
- ⑩ 友達や保育者がしている遊びに興味をもちやってみようとする
- ⑪ 色の変化に気づく

【3歳児(6月)】—子どもの姿— 暑い日が続き、外遊びで砂遊びに水を使ったり、泥遊びをしたりして遊ぶ姿が見られるようになってきた。そこで、さらに水遊びを楽しめるように色水の環境を準備した。

日のねらい: 半紙が色づいていくことを楽しむ。

スプーンで色水を掬い、半紙に色が滲んでいく様子を楽しむ姿

色、重なって
みる
みて!色が
変わって
いった!
いろいろなところに色ついた!



<内面理解>

- ・単色や複数の色で楽しむ子どもも、自分のやりたい方法を楽しんでいる。
 - ・底に溜まる絵の具を見て、色の变化に気付いたようだ。
 - ・かき水を作り、他の保育者や友達にあげることを楽しんでいるようだ。
- <思考力の芽生え> ⑨⑩⑪
<保育者の願い>
・様々な色に興味をもってほしい。

環:様々な色の色水・半紙・スプーン・かき水屋さんの看板等
子:単色を楽しむ子どもいれば、複数の色をかけて楽しむ子どももいる。
援:色水遊びに興味をもつことが出来るように保育者も一緒に楽しむ。
・子どもが遊んでいる姿を笑顔で見守ったり、楽しさや、驚きに共感したりする。

日のねらい: 色が変化する不思議さや面白さを感じる。

お玉を使って様々な色の色水を組み合わせる姿

お姉ちゃん達が
使ってたやつや!
ぶどうジュース
になった!
ジュース屋さんもできるよな!



環:様々な色の色水・小さなお玉・ジュースを入れるコップ・ボウル等
子:色水と色水をカップに入れ、色が変化することを楽しんでいる。
・青と赤を混ぜたら紫になるなど、色の变化に気付く、楽しんでいる。
・ボウルにお玉ですくって入れるなど、年長児の真似をしている。
・できたものをカップに入れてジュースに見立てている。
援:子どもの気付きに共感する。
・保育者も一緒に色水作りを楽しむ。

月のねらい: やってみたいと思ったことを存分に楽しむ。

<内面理解>

- ・赤と青を混ぜたら紫になることに自ら気付いたようだ。
 - ・色を混ぜた時の色の变化に気付く、自分なりに組み合わせを考えて作っているようだ。
 - ・年長児がしていた遊び(ジュース屋さん)を楽しめることや、同じ道具を使っていることに喜びを感じているのではないかと、ジュースに見立てたことで、他の保育者や友達と少しずつ関わって遊ぶようになってきたのではないかと。
- <思考力の芽生え> ⑦⑧⑨⑩⑪
<保育者の願い>
・保育者や友達と関わって遊ぶ楽しさを感じてほしい。
・色を混ぜたときの色の变化に興味をもってほしい。

【他の10の姿から読み取れるもの】

- ・自立心(身近な環境に関わろうとする)
- ・協同性(友達や保育者との関わりを楽しむ)
- ・豊かな感性と表現(身近な環境と出会い、感動や心を打たれる体験をする・色々な表現方法を知る)

【4歳児(6月)】—子どもの姿— 4月から繰り返し楽しんできたスカリーノ(ビー玉転がし)で遊んでいると、数が足りなくなり「もっと繋げて長くしたい」と、代わりになるものを探していた。保育者が、トイレットペーパーの芯を半分に切った物を見せると、レールの代わりに使えそうなどに気付く、自分達で芯を切り、繋げて遊び始めた。

日のねらい: 自分なりの方法でビー玉を転がそうとする姿

半分に切った芯を、つい立てに貼り付け、レールを長く繋ぐことを楽しむ姿

どうしたら
いいの
あかん
転がらない



<内面理解>

- ・保育者の声掛けから、原因に気付くことができたようだ。
 - ・個々で遊んでいた姿から、上手い友達を真似し、一緒にやってみる楽しさに気付いたようだ。
 - ・どうしたらよいかを考えることに楽しさを感じたようだ。
- <思考力の芽生え> ⑤⑥⑦
<保育者の願い>
・自分の思いを実現するために、自分で試したり友達と一緒に考えたり、真似をしたりする楽しさを感じてほしい。
・考えたり試したりしながら、思いを実現できた時の喜びや満足感を感じてほしい。

環:つい立て・トイレットペーパーの芯・布ガムテープ等
子:つい立てに芯を貼り付け、レールを長くしたり、コースを増やしたりしている。
・完成したレールにビー玉を転がすが、思ったように転がらず困っている様子。
・ビー玉がレールの途中で止まってしまう、指で押し進めようとしている。
援:つい立てに斜めに芯を1つ貼り付け、気付くように置いておく。
・焦らず様子を見守り、完成したことを共に喜ぶ。

日のねらい: 保育者の声掛けから、転がる方法を自分なりに考えようとする。

友達のやり方の真似をしたり、自分で考えたりして、レールを繋げ、新しいコースを作る姿

こうしてつけたら
いいねんな
落ちた時の
キャップゴール!
転がった



<内面理解>

- ・身近にあるものを使って、今までよりも長いコースを作り、つなげる楽しさを感じているようだ。
 - ・ビー玉が転がらないことに困っているが、原因に気付くのは難しいようである。
 - ・ビー玉が転がらず、自分なりに考え、指で押し進める姿があり、転がしたい思いがあるようだ。
 - ・今試行錯誤をしているようだ。もう少し見守る必要があるのではないかと。
- <思考力の芽生え> ①②⑦⑧⑩⑪
<保育者の願い>
・ビー玉がうまく転がるようにするには、どうすればよいか、転がらない原因や、解決策に気付いたり考えたりしてほしい。

一考察

- ・子どもが困難や思い通りにいかないことに出会ったとき、すぐに手を貸したり声を掛けたりせずに子どもの試行錯誤する姿に寄り添い見守ることで、子どもの思考力の芽生えがさらに広がっていくと思われる。また、子どもが試行錯誤する場面において、友達の様子を見たり、やりとりをしたりする子ども同士の関わりは、より考えようとする経験につながったり、上手いときの喜びを共有することができたりするものと思われる。
- ・子どものもつてなりたいという思いを受け止め環境を設定したことや、転がりたいという共通の思いをもった友達がいたことで、遊びがさらに楽しくなったと思われる。

【他の10の姿から読み取れるもの】

- ・健康な心と体(好きな遊びを繰り返し楽しむ)
- ・自立心(繰り返し挑戦する)
- ・協同性(友達と思いや考えを共有する)
- ・言葉による伝え合い(思いや考えを自分なりの言葉で相手に伝える)